

緊張裡に今日を祈念

全市民の國民精神高揚

紀元二千六百年奉祝統後奉公祈誓大會は、畏くも秩父總裁宮殿下の台臨を仰ぎ今十九日聖地櫻原神宮の聖域で舉行されたが、市では早朝來各戸國旗を掲出、午前十時から縣子鐵金神社に市民多數參集、八枚一字の理想達成、皇軍將士の武運長久祈願を行ひ、紀元節に賜つた詔書の聲旨に應へまつるべく各自心に深く刻み込んだ上、殿下的詔書奉讀時刻にはサイレン梵鐘の合図により遙かに當地を拜し國民精神高揚統後奉公の聲旨を固め緊張敬虔之理にこの日を記念し奉つた。席上伊藤助役(市長代理)朗讀の宣誓文左の如し

宣
誓
文
紀元二千六百年の紀元節に賜つた詔書の聲旨を奉体し市民一致協力奉め眞躬の赤誠を效し益堅忍持久滅私奉公の精神を以て統後の強化に努め時艱が克服に邁進せんことを誓ひ奉る

昭和十五年六月十九日

平市長從五位勳四等 青沼鋒太郎

早乙女十名が奉仕

けふ夏井村でお田植

市参事員

先進地視祭

市参事員

市参事員

市参事員

夏井村菅波箱崎義範氏方
神保田御田植ゑは今十九日
午前十時知事代理長澤技師
監郡農會員以下開業者參列
山名大國魂神社々掌にり
祭式を慶修の後沐浴齊戒のす
早乙女十名により嚴かに執
行された、なほ平第四小學校
の神保田御田植ゑは明二十
日午前八時から行ふと

△六月二十二日八時、青

△六月二十四日秋田△二十
五日酒田、鶴岡△二十六
日石巻

時局に即應して
商工更生委員活動

平外二ヶ所で協議會

業者と縣の中間機關たる商如し
工更生委員の活動を促進せ
んとする地方商工更生委員
協議會は縣から鈴井指導員
出張の下に

△二十七日植田町役場△
二十八日平市會議事堂△
二十九日四倉町役場△
の割で覗くが當日の指示
(指示)商工更生委員會運
用、休失業並に休失業に
瀕せる商工業者の調査、
商工業者從來の業務の維
持並・轉換指導、簿記會
の委員擔當地區決定、商
工更生委員に開する認識
を一般業者に周知徹底せ
しむる件、門様表示
宣傳ビラ、巡回相談
なほ平區管内の委員名左の
る故何卒御放念下さい。當にても読みむさばります。

御紙を読み合つて 故國の近況を知る

長谷川庄平君(信)

四倉町出身

五に頑張る

元入り從業員

大原利光君

鷹森にて戰線を各方面正す。

新緑の頃統後

拜啓。初夏

各處の御活躍の皆

ます。降つてん、頗みすれば從軍以來

小牛も其の後

に御精勤の事聞の湖水附近は涼しさこれ

と御推測申上にましたるものはあらませ

ます。降つてん、頗みすれば從軍以來

を一般業者に周知徹底せしむる件、門様表示宣傳ビラ、巡回相談なほ平區管内の委員名左のる故何卒御放念下さい。當にても読みむさばります。

大白の春

市内一丁目出身

後藤龍雄君

大白の春

拜啓。初夏

各處の御活躍の皆

ます。降つてん、頗みすれば從軍以來

小牛も其の後

に御精勤の事聞の湖水附近は涼しさこれ

と御推測申上にましたるものはあらませ

ます。降つてん、頗みすれば從軍以來

を一般業者に周知徹底せしむる件、門様表示宣傳ビラ、巡回相談なほ平區管内の委員名左のる故何卒御放念下さい。當にても読みむさばります。

故國の近況を知る

長谷川庄平君(信)

四倉町出身

新緑の頃統後

拜啓。初夏

各處の御活躍の皆

ます。降つてん、頗みすれば從軍以來

小牛も其の後

に御精勤の事聞の湖水附近は涼しさこれ

と御推測申上にましたるものはあらませ

ます。降つてん、頗みすれば從軍以來

を一般業者に周知徹底せしむる件、門様表示宣傳ビラ、巡回相談なほ平區管内の委員名左のる故何卒御放念下さい。當にても読みむさばります。

住友生命保険株式會社

平事務所

小瀧の園

近來はそうちた蟹

の風も殆ど無くなつ

て居るなどは其助客などに

よつて行はれる極めて性

の悪い犬養の復讐手段で

るべし三番

不遇の感つて深

く居ります。農村の町制

にまつたもののはあらませ

ます。降つてん、頗みすれば從軍以來

を一般業者に周知徹底せしむる件、門様表示宣傳ビラ、巡回相談なほ平區管内の委員名左のる故何卒御放念下さい。當にても読みむさばります。

小瀧の園

いま出盛りです

御來園下さい

いまと申します

「なるべく容れものを御用意下さ」

電話小名演一〇三

瀧

瀧

瀧

瀧

瀧

瀧

瀧

瀧

瀧

瀧

瀧

瀧

瀧

瀧

瀧

瀧

瀧

瀧

他店で御氣に召され時に是非一度

—常盤園東京仙臺間であらるクリーニング機械設備の揃つて

純ドライクリーニング 田西洋洗濯機

酒トマツイ

たでんの

白榮舍ランドリー

